



未来の名馬、ここから始まる！サラブレッド1歳馬競り市！

7月29日（火）、J B B A九州種馬場（本町野方）におきまして、『九州1歳市場』（サラブレッド1歳）が開催されました。

競り市には、2013年産の1歳馬20頭（牡9・牝11）が上場されました。また、競り市前には、上場予定のサラブレッドの展示会（下見）も行われ、馬舎付近には、一般の方など多くの人たちが見学し、購買者も血統や馬体などを慎重に見極めていました。

なお、今回の落札（売却）頭数は前年より3頭多い8頭で、最高価格は、父ブラックホーク、母ドラゴンウインの牝馬で、2,160,000円で落札されました。



▲馬主にひかれるサラブレッド



伝統の七夕地蔵参り！

旧暦の七夕にあたる8月7日（木）、南光寺近くに立つ『七夕地蔵』に多くの参拝者が訪れました。

この風習は、かつて地蔵周辺で行われていた七夕市に訪れた人々がお盆前に精霊様を迎えようと地蔵を参拝したことが始まりと言われています。また、地蔵は廃仏毀釈で一度失われたそうですが、地域の方々によって大正8年（1919年）7月に立て直され、今でも七夕参りは、伝統行事として続いています。

七夕地蔵周辺には、上町子ども会や町東土曜クラブ、上町青友会の会員らによって、色鮮やかでさまざまな七夕飾りが設置されました。



▲多くの方々が参拝に訪れました



大きくなって帰ってきてね！ウミガメ放流 大丸小学校

8月11日（月）、大丸小学校3・4年生と保護者ら25名が、横瀬海岸においてウミガメの放流を実施しました。

同小学校は、海岸近くに立地しており、自然を大切にすることや命の不思議さを学ぶために、ウミガメの保護活動に取り組んでいます。

6月と7月にウミガメ保護監視員の下野明文さん（新地）から預かった卵584個を校庭のふ化場に移設し、観察を続けました。

児童らは、今回ふ化した子ガメ80匹を大海原へと放流しました。



▲ウミガメを見守る児童ら